

外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会（平成 26 年度第 3 回） 議事要旨

1. 日 時 平成 27 年 2 月 3 日（火）午後 2 時～午後 4 時
2. 会 場 北野地区公会堂（三鷹市北野 4－10－1）
3. 出席者 参加者 15 人

4. 概 要

北野中央通りの付け替え道路についての説明及び現場確認を行い、以下のご意見をいただいた。また、次回の協議会は平成 27 年 3 月下旬～4 月頃の開催を予定している。

5. 参加者からの主な意見・質問等

（1.5mの仮設歩道について）

○歩道幅員は、もっと広げられないか、また、子どもの飛び出し防止対策が必要と考える。

○1.5mの仮設歩道は、防犯の観点からなくし、既存通学路を使用した方が安全であると考ええる。

→（国）対応を調整・検討する。

（4 mの仮設道路について）

○仮設道路の幅員は、現在の 4 m幅員でも狭いので、仮設道路だけでなく、それに続く現道も 5 m以上にしてほしい。

→（国）対応を調整・検討する。

（9 mの付け替え道路について）

○9 m付け替え道路の歩道は内側に設置し、既存歩道から真っ直ぐ利用できるようにするか、両側につけてほしい。

→工事に必要な範囲は確保したいと考えているが、調整・検討する。

○工事に必要な物については、工事ヤード内だけでなく、付近の事業用地等に分散させることで、工事ヤードを狭め、歩道を広げてほしい。

→（国）付近の事業用地は、今後の工事で使用していく土地であり、また、工事用資材を運搬する車両の通行が発生するため、対応は難しい。

○市道第 69 号線付近の新設横断歩道は、東八道路側から来た車から、ブラインドコーナーになることが懸念される。施工ヤード内のフェンスを 5m程内側に設置するなどし、ドライバーの視界を確保し、安全性の向上を図ってほしい。

→（国）透明パネルの使用や、安全対策上の注意喚起看板などの設置等について、調整・検討する。

○市道第 69 号線から来た歩行者が真っ直ぐ渡れる箇所に、横断歩道や信号機をつけてほしい。

→（国）カーブが近いので、制動距離を考慮した交通安全上の配慮のため、やや南の位置を提示している。

○9 mの付け替え道路の歩道には、子どもたちが道路を横断しないよう、対策してほしい。

→（国）現況にもある横断防止柵を設けるなど、調整・検討する。

○カーブの箇所には、外側にも歩道を設けてほしい。また、徐行を促す信号機（ブリンカーライト等）を設置してほしい。

→（国）将来的には、当該箇所も施工区域となるため、片側歩道の設置案を提示させていただいている。信号機等については、調整・検討する。

○スピードが出せる道路とは思えない。減速していれば安全なのではないか。

→（国）カーブが急なので、通行車両は減速することが考えられる。

○カーブの箇所を T 字路にして、一時停止するようにすれば、安全ではないか。

→（国）対応を調整・検討する。